

【基本情報】

2次医療圏域	西播磨					
経営形態	公営企業法財務適用					
病床数 稼働()	一般	205	(205)	高度急性期	0	(0)
	療養	0	(0)	急性期	150	(150)
	核酸	0	(0)	回復期	55	(55)
	精神	0	(0)	慢性期	0	(0)
	感染症	0	(0)	合計	205	(205)
合計	205	(205)				

【診療科目】

内科	○	産婦人科	○
精神・神経内科	○	眼科	○
小児科	○	耳鼻いんこう科	○
外科	○	放射線科	○
整形外科	○	歯科・口腔科	-
脳神経外科	-	麻酔科	-
皮膚・泌尿器科	○	その他	○

【医療機能】

救急告示病院	○	人間ドッグ	○
臨床研修病院	○	人工透析	○
がん診療連携拠点病院	-	ICU・CCU	-
感染症指定医療機関	-	NICU・未熟児室	-
へき地医療拠点病院	○	運動機能訓練室	○
災害拠点病院	-	放射線診療	-
地域医療支援病院	-		
特定機能病院	-		
病院群輪番制病院	○		

グラフ凡例



【分析】

経営分析総括

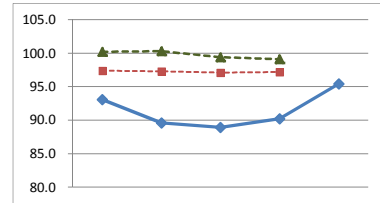
兵庫県北西部における二次救急を担う唯一の病院であり、へき地医療拠点病院に位置付けられた圏域・地域の中核的な病院としての役割を担っているが、農山村部で人口減少が著しい地域のため、設備等の投資に対する採算性は低い。また、慢性的な医師不足による患者減から近年は経営が悪化していたが、兵庫県の実施する寄付講座による医師派遣等により、徐々に患者も増え、経営も改善の傾向にある。

①経営の健全性

経常収支比率・医業収支比率が類似団体、全国平均よりも低い要因として、常勤医師の退職等により、患者数及び医業収益が減少したことに加え、勤務医の平均年齢が高いこと及び不足する医師をコストの高い非常勤医の採用により補充しているため、医業収入に対し職員給与費の割合が高いことが影響しているが、兵庫県の実施する寄付講座による医師派遣等により安定した医療の提供体制も整い収益も徐々に増えてきており、これらの指標も改善の傾向にある。

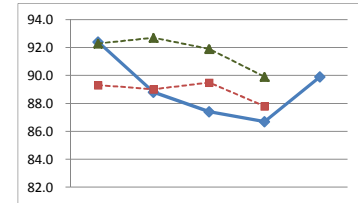
1 経営の健全性

①経常収支比率(%)



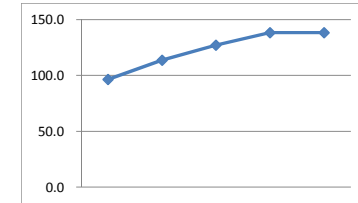
	H23	H24	H25	H26	H27
本院	93.1	89.6	88.9	90.2	95.4
類似平均	97.4	97.3	97.1	97.2	-
全国平均	100.2	100.3	99.4	99.1	-

②医業収支比率(%)



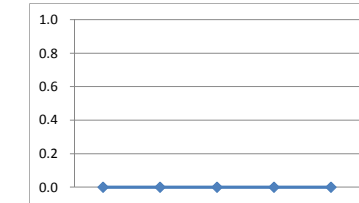
	H23	H24	H25	H26	H27
本院	92.4	88.8	87.4	86.7	89.9
類似平均	89.3	89.0	89.5	87.8	-
全国平均	92.3	92.7	91.9	89.9	-

③累積欠損金比率(%)



	H23	H24	H25	H26	H27
本院	96.5	113.8	127.2	138.4	138.4

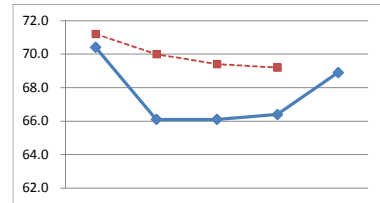
④資金不足比率(%)



	H23	H24	H25	H26	H27
本院	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

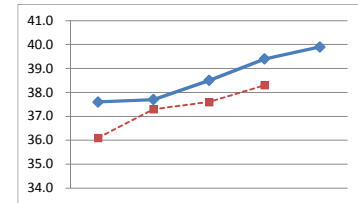
2 収入確保・経費節減

①病床利用率(%)



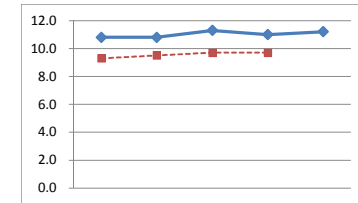
	H23	H24	H25	H26	H27
本院	70.4	66.1	66.1	66.4	68.9
類似平均	71.2	70.0	69.4	69.2	-

②患者1人1日あたり入院収益(千円)



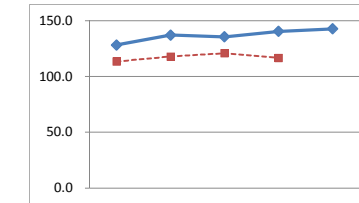
	H23	H24	H25	H26	H27
本院	37.6	37.7	38.5	39.4	39.9
類似平均	36.1	37.3	37.6	38.3	-

③患者1人1日あたり外来収益(千円)



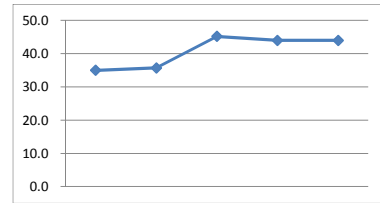
	H23	H24	H25	H26	H27
本院	10.8	10.8	11.3	11.0	11.2
類似平均	9.3	9.5	9.7	9.7	-

④病床100床あたり職員数(人)



	H23	H24	H25	H26	H27
本院	128.1	137.0	135.5	140.3	142.6
類似平均	113.4	117.8	120.8	116.7	-

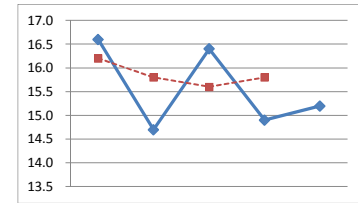
⑤患者紹介率(%)



	H23	H24	H25	H26	H27
本院	35.0	35.7	45.2	44.0	44.0

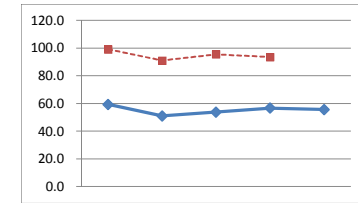
※初診患者に占める文書紹介された患者及び救急搬送された患者の割合

⑥平均在院日数(一般病床)(日)



	H23	H24	H25	H26	H27
本院	16.6	14.7	16.4	14.9	15.2
類似平均	16.2	15.8	15.6	15.8	-

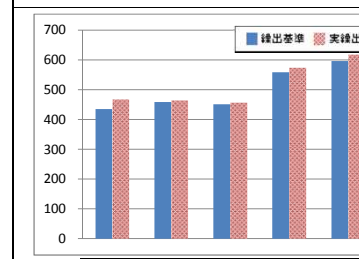
⑦薬品使用効率(%)



	H23	H24	H25	H26	H27
本院	59.4	51.0	53.8	56.7	55.7
類似平均	99.1	91.0	95.5	93.5	-

※薬品収益/薬品購入原価 (比率が高いほど薬品収支がよい)

3 一般会計等の繰出状況(百万円)



	H23	H24	H25	H26	H27
繰出基準	435	459	451	559	596
実繰出額	468	464	457	574	618

※繰出基準:性質上、病院に対して一般会計等が負担すべき経費(救急、高度医療など)
※実繰出額:病院に対して一般会計等が実際に負担した経費

③一般会計等の繰出状況

近年、医師不足等により財政状況は悪化していたが、過年度分損益勘定留保資金があるうちは繰入金については財政担当部局との調整により総務省の繰入金通知の項目の一部の支出について抑制を行っていた。前記留保資金が枯渇してきたことにより、繰出項目を順次拡充したため、H23以降は徐々に増加している。